



大和ハウスグループのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大和ハウス工業 『We Build SDGs』

『SDGs』、より良い明日を目指す世界の目標

大和ハウスグループは、創業者・石橋信夫の「世の中の役に立つからやる」という想いを原点に事業に取り組んでいます。

21世紀、私たちはSDGsと同じベクトルで「共に創る。共に生きる。」を基本姿勢に、人・街・暮らしと歩み続けています。

キーワードは「We Build」
“私たちは、つくる。”
新しいエネルギーを、

太陽光を利用した「DREAM Solar」や風力を活用した「DREAM Wind」地球を思う脱炭素の取り組み、自然と支えあう再生可能エネルギーを届けていきます。

“私たちは、つくる。”
未来につながる施設を、

「みらい価値共創センター」は建物の様々な可能性をカタチにした施設、一つは「働く人の健康」心と体の充実を考えた建築で、WELL認証を取得。さらに、「環境への配慮」省エネ性能を兼ね備え、BES認証も取得。

そして「学びと成長」あらゆる世代の人が共に学び、考え、成長していきける建物も、ヒトの未来も共創していきます。

“私たちは、つくる。”

「住み続けられる街」を、

少子高齢化や空き家問題に直面した街を再耕する「リブネスタウンプロジェクト」、そこに暮らす人たちと街の将来を考える、街の暮らしと人の絆をつないでいきます。

“これからも、私たちは、つくる。”

すべての人が自分らしく生きる明日を、大和ハウスグループは、そんな持続可能な世界の実現に向けて進んでいきます。

(大和ハウス工業ホームページより)



大和ハウス工業 株式会社

最高顧問 樋口武男

1938年兵庫県生まれ。1961年関西学院大学法学部卒業。1963年大和ハウス工業入社。取締役、常務取締役、専務取締役を経て、1993年大和団地代表取締役社長に。1995年に同社を黒字に転換。2001年大和ハウス工業代表取締役社長に就任。2004年より代表取締役会長兼CEO。2020年より同社最高顧問。2005年から2013年3月まで大阪商工会議所の副会頭

2014年春 旭日大綬章 叙勲受章



内閣府認証 NPO法人 ジャパン メディカル ケア アソシエーション

理事長 西川雅夫

1948年大阪生まれ。1971年甲南大学卒業後、現リコージャパンに入社。1972年セキセイ入社後、副社長を経て、1985年代表取締役社長に就任。2013年代表取締役会長就任。2020年JMCA理事長に就任。ODC大阪デザインセンター理事、DAS総合デザイナー協会デザイナー会員、大阪商工会議所生活用品部会副部会長、2022年大阪防衛協会理事、2009年春 黄綬褒章受章

2022年秋 旭日双光章 叙勲受章

大和ハウス工業最高顧問 樋口武男氏と西川雅夫との出会い

内閣府認証NPO法人JMCA理事長

私と大和ハウス工業の樋口武男さんとの出会いは、私の母校の大阪教育大学附属中・高の同級生である当時野村不動産の副社長をしていた高井基次君の紹介でした。

高井君に紹介していただいた後は、樋口さんとは大阪商工会議所の朝食会で毎月お会いするようになりました。そのご縁で、5年前の私の古希と、著書「(超) なんてやねん」の出版記念パーティーに来賓でスピーチをしていただき、現在は、NPO法人JMCAのアドバイザーボードとして、ご支援いただいております。



イタリア領事館にて

「〇〇の樋口」とも言われて建築業界では誰一人として知らない人はいないとされる、素晴らしい功績だと思えます。

ご講演をいく度か拝聴させていただきましたが、創業者の石橋信夫氏のことばかり述べられ、その謙虚さに感銘しております。

高円宮妃久子殿下の主催されている「バードライフ」という世界の小鳥を大切にしようというチャリティーにも、



写真左からJMCA西川理事長 大和ハウス工業 樋口武男最高顧問 野村不動産 高井基次副社長 (当時)

樋口さんから私も夫妻も招待いただき、とても感激した思い出もあります。イタリア領事館での晩餐会等でも、樋口さんから気さくで温かいところで話しかけていただきましたが、その姿は、私が座右の銘としている「寛仁厚德」そのものであると確信している次第です。

私の、令和4年秋の叙勲旭日双光章受章も、いの一歩に携帯電話で祝福をいただきました。樋口さんの旭日大綬章にはお喜びませんが、この度の受章は私にとりまして、セキセイ株式会社にとりまして、JMCAにとりましても荣誉あることであります。

SDGsの趣旨に賛同し、地球を救う様々な問題に取り組んで及ばずながらお役に立ちたいと思っております。

巻頭言にも記しましたとおり、「企業と従業員とお客さまの幸せ」を三位一体として考えておりますが、樋口さんの言葉の端々からもっとスケールが大きく、国があつてこそ企業があるわけで、「国と、企業とそこに集う従業員と、国民の幸せ」を考え、国益にそぐい、国民の持続し続ける幸せを追求する企業の姿勢を樋口さんから垣間見ることができました。

大和ハウス工業さんの目標は、SDGs11の「住み続けられるまちづくり」に集約できるのではと、聞いたことがありましたが、樋口さんのお話の中から、幸せな人と、帰りたい家、幸せな家族をもたらす家々の集合に住み続けられるまちの基礎であるとのメッセージを感じています。

今後の我々NPO法人JMCAの活動に皆様のご支援をお願いするともに、「温もりのある家づくり」「住み続けられるまちづくり」に邁進されている大和ハウス工業と樋口さんに「大和ハウス工業、ブラボー」という言葉で、この項の結びの言葉といたします。

(JMCA理事長 西川雅夫記)

樋口さんは、現在、大和ハウス工業の最高顧問として活躍されていますが、同社を今日の日本で指折りの企業まで発展・成長にご尽力された実績は、